

令和 7 年度  
市民協働・共創促進事業の選定結果について  
(答申)

令和 7 年 1 2 月  
府中市市民協働推進会議

令和7年5月15日付けで、高野市長より諮詢を受けた事項のうち、市民協働・共創促進事業の選定結果について、ここに、答申として提出いたします。

府中市市民協働推進会議  
会長 青山 亨  
副会長 関根 正敏  
委員 五十嵐 耕大  
同 芝 喜久子  
同 柴 原健次  
同 高橋 史子  
同 田 中誠  
同 丹 野加奈子  
同 野 原健史  
同 花 岡 麻穂子  
同 和 田 奈美

## 目 次

1	市民協働・共創促進事業について	1
2	交付予定事業候補選定のながれ	1
3	選定結果	2

### 参考資料

- 1 市民協働推進会議協働事業選定・評価部会 市民協働・共創促進事業採択者審査基準

## 1 市民協働・共創促進事業について

市民協働・共創促進事業は、行政課題の解決や社会的目的を実現する市民提案を募集し、市民と市が協働・共創し事業を実施する制度です。

この市民協働・共創促進事業は、フリー型市民協働・共創促進事業と、テーマ型市民協働・共創促進事業があり、フリー型市民協働・共創促進事業は、市民の自由な発想に基づき提案できるもので、テーマ型市民協働・共創促進事業は、市が掲げたテーマに基づき事業を提案できるものです。

## 2 交付予定事業候補選定のながれ

令和7年3月8日（土）から10月31日（金）までに提案のあった3事業について、12月22日（月）に、審査会を実施しました。

審査会では、提案団体による公開プレゼンテーションと質疑応答を行った後、府中市市民協働推進会議の委員で構成する「市民協働推進会議協働事業選定・評価部会（以下「部会」といいます。）」と、オブザーバーとなる協働・共創アドバイザー、市民協働推進部長、協働共創推進課長との意見交換を経て、部会による審査を行い、令和7年度市民協働・共創促進事業の候補事業として選定しました。

### 【市民協働推進会議協働事業選定・評価部会員】

役職	氏名
部会長(代理)	五十嵐 耕大
委員	芝 喜久子
委員(代理)	田 中 誠

### 【オブザーバー】

所属	氏名
協働・共創アドバイザー	中村亮一
府中市市民協働推進部長	大井孝夫
府中市市民協働推進部協働共創推進課長	福嶋史江

### 3 選定結果

当会議が行った、令和7年度市民協働・共創促進事業選定結果については、次のとおりです。

No.	事業名	団体名	市担当課	実施内容	申請方法	総事業費 (委託料)	選定 結果	採択に当たっての意見・要望等
1	府中ソーシャル キッズラボ (子ども主体・社 会貢献体験プロ グラム)	C H E E R S 株式会社	市民協働推進部 協働共創推進課	将来的な社会貢献活動の担い手の裾野を広げることを目的として、子どもの頃から社会貢献活動の体験に触れ、社会課題を自分ごととして捉えられるような実践機会やワークショップを開催する。 社会課題について、子どもが自ら考え、自分なりの課題解決策を発表し、実践する体験型ワークショップを実施するもの。	テーマ型	999,358円 (999,358円)	採択	・プログラム実施者（大学生等）及び参加者（子ども）は、府中市民（在住・在学のほか、在勤や市内で活動する者の子どもなど）を優先するように配慮すること。 ・アンケートの実施方法や効果測定に課題があるため、今後の事業の展望を見据えた検証データ等を取得し、事業終了後の報告会において報告すること。
2	平和都市宣言 40 周年に向けた周 知啓発の企画・提 案	NPO 法人アーティスト・コレクティブ・フチュウ	市民協働推進部 協働共創推進課	令和8年度の平和都市宣言40周年に向けて、「平和のロゴ、広報物」を制作。市民が自分なりの身近な「平和」を感じ、考えるヒアリングを行い、平和を見つめ直す場を提供する。 ロゴマークは市民自身が「平和」について考え、手を加えることで完成するという従来にない柔軟な発想で平和を紡いでいく企画を展開する。	テーマ型	1,999,800円 (1,999,800円)	採択	・本事業は、成果を定量的に測定することが困難な事業であるため、作成した成果物（チラシ等の広報物ほか）を、どこに、どの程度配布したか（するか）などを成果として計測するとともに、事業終了後の報告会において報告すること。 ・若年層を中心に多世代に対して平和への関心を高められるよう、市が本事業について世代に応じた周知など、効果的な広報を検討し、対応すること。

No.	事業名	団体名	市担当課	実施内容	申請方法	総事業費 (委託料)	選定 結果	採択に当たっての意見・要望等
3	府中市 特殊詐欺体験会	株式会社 NTT DX パートナー	生活環境部 地域安全対策課	特許技術（シン・オートコール）を用いて、特殊詐欺体験会を3回実施する。 参加した市民は自身の携帯電話やスマートフォンに詐欺の電話やメッセージが届くことで、特殊詐欺の疑似体験ができると共に、体験会から得た警戒心は、友人、知人への情報共有を通じて波及効果が期待できる。	テーマ型	1,992,650 円 (1,992,650 円)	採択	・無関心層を含む多様な主体が参加しやすい環境にするため、休日や夜間の開催等、体験会参加者の増加に向けた方策を講じること。 ・事業実施後、事業報告会において、本事業の成果を踏まえた今後の府中市のビジョン（課題・対策・継続性）を明確に示すこと。

#### 令和7年度市民協働・共創促進事業採点結果

評価項目			地域課題の明確性	共創の必要性	公益性・社会的インパクト	独自性	実現可能性	妥当性	合計点	割合	可否審査	
No	事業名	団体名	点数	点数	点数	点数	点数	点数			可/否	割合
1	府中ソーシャルキッズラボ (子ども主体・社会貢献体験プログラム)	CHEERS 株式会社	27	27	27	26	25	25	157	87%	可	100%
2	平和都市宣言40周年に向けた周知啓発の企画・提案	NPO 法人アーティスト・コレクティブ・フチュウ	26	26	25	25	25	24	151	84%	可	100%
3	府中市 特殊詐欺体験会	株式会社 NTT DX パートナー	23	24	23	24	22	22	138	77%	可	66%

# 参考資料

市民協働推進会議協働事業選定・評価部会  
市民協働・共創促進事業（官民連携）採択者審査基準

審査項目	審査の視点	満点
の 地 域 明 確 課 性 題	地域課題をデータ等により具体的に認識・分析し、市民や地域のニーズを的確に捉えているか。  市単独では解決できない課題が明確に存在するか。	10
共 創 の 必 要 性	市にとって協働・共創する意義があり、課題解決のために市が関わることがふさわしい事業か。  団体と市との役割分担が明確かつ妥当なものであるか。  市では従来にはない解決策であると認められるか。	10
公 益 性	特定の人の利益ではなく、不特定多数の市民の利益又は社会全体の利益に寄与するか。  事業を共創することにより、具体的な成果を期待できるか。  ロジックモデルの内容が妥当（実現可能性、ロジックに矛盾がないか）であるか。	10
独 立 性	新しい視点と創意により組み立てられた事業か。  事業の発展性や将来性が期待できるか。  市にとっても新たな取組であり、何らかのイノベーション創出につながるか。	10
実 現 可 能 性	目標が明確で、達成が見込める（無理のない）計画となっているか。  計画を実現できる体制（人材面・資金面）を有しているか。  提案書や提案説明で、事業のポイントや団体の熱意を的確に伝えられているか。	10
妥 当 性	費用対効果の視点で、市の委託事業として妥当であるか。  令和7年度中に緊急で実施すべき事由があると認められるか。	10
合計		60

## 2 採点基準

満点	特に良い	良い	普通	やや劣る	劣る	評価対象外
10 点	10・9 点	8・7 点	6・5 点	4・3 点	2・1 点	0 点

※各審査員が「可」または「不可」を判定します。

一つの審査項目につき、10点満点の計60点とし、各審査員がそれぞれ採点を行います。全審査員の合計点を審査の点数とし、審査の点数が6割を超え、かつ「可」が過半数を超えることを審査通過にあたっての最低基準とします。